

白河市におけるまちづくりと 文化財保護

資料9

白河市長 鈴木和夫

白河市とは。

- ・東北地方の入り口、福島県の南端に位置。
- ・人口 62,000人ほど。
- ・面積 305.32 平方キロメートル。
- ・平成17年に1市3村で合併。



白河市街地



白河のまちづくり

- ・小峰城跡・南湖・白河関跡は市を代表する歴史遺産。
- ・中心市街地は小峰城の旧城下町。歴史的町並みが残り、そこを舞台とした祭礼・行事が江戸時代から行われている。
- ・市街地には、近代以降の歴史的遺産も数多く残されている。



史跡白河関跡



史跡小峰城跡



史跡・名勝南湖公園

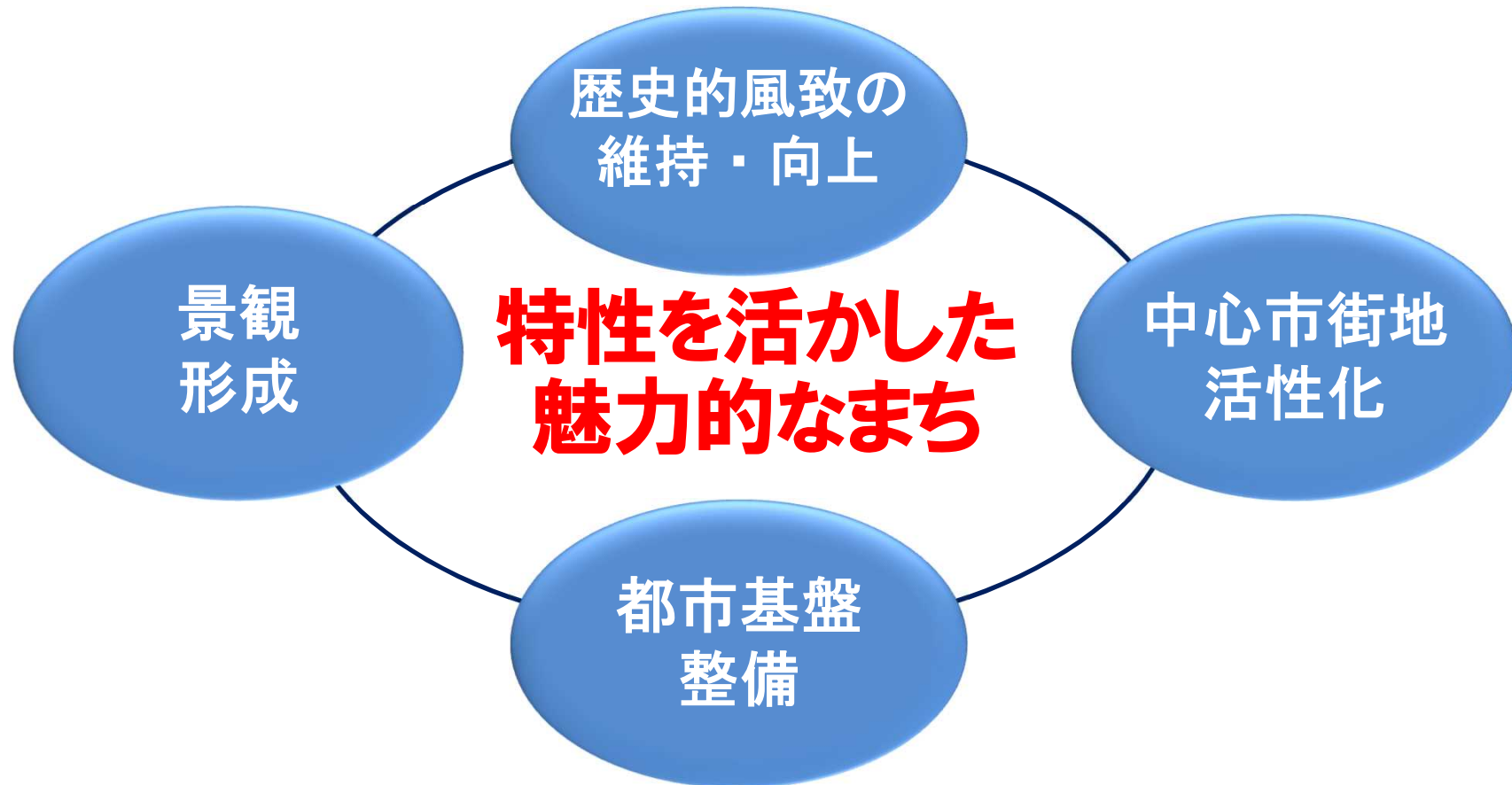
歴史的・文化的遺産を保全し、これをまちづくりに活かす。

「歴史・伝統・文化」を活かしたまちづくり

現在のまちの姿



重層的な施策によるまちづくり



歴史・文化を守り、伝え・活かすことを基本に、
重層的な施策を用いてまちづくりに取り組む。

歴史的風致の維持・向上



修復前



修復後

歴史的建造物の保全



江戸時代から続く白河
提灯祭りの継続

中心市街地活性化



歴史的蔵を活用した「楽蔵」の整備

都市基盤の整備



景観に配慮した道路整備

景観形成



修景前

店舗の修景整備

修景後



修景前

街路の整備

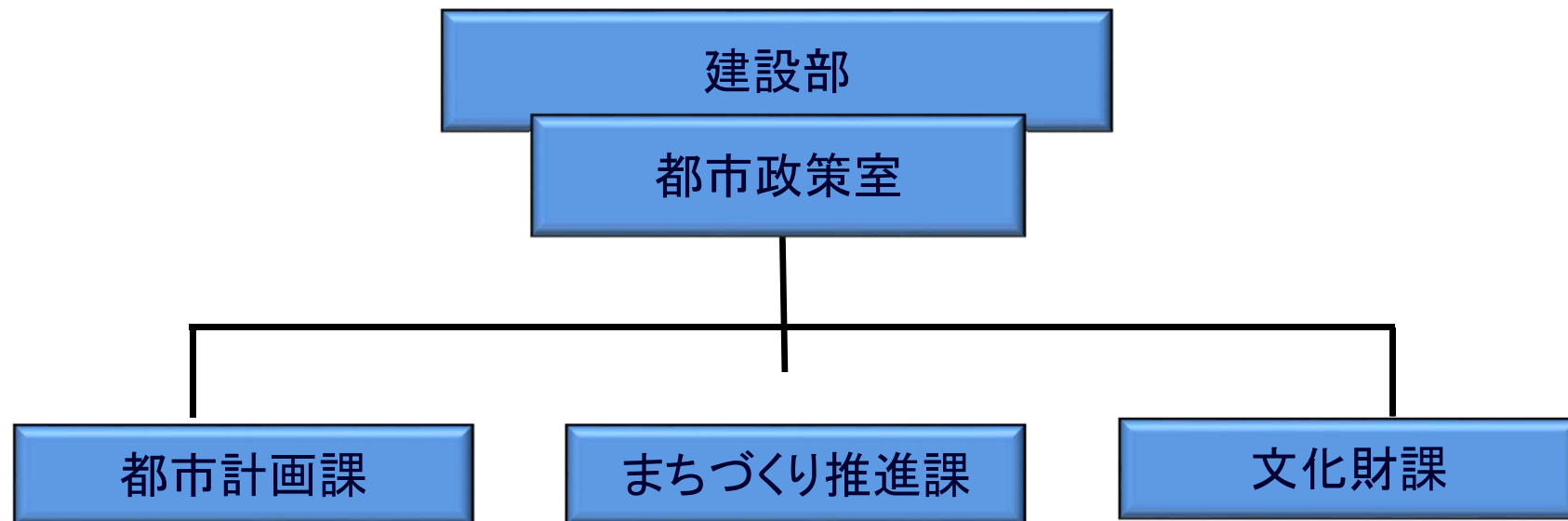
修景後



背景の小峰城を意識した白河駅周辺の景観形成

平成24年 まちづくりの推進に向けた組織の見直し

「歴史・伝統・文化」を活かしたまちづくりを効果的に推進するため、地方自治法の規定に基づき、文化財業務の一部を市長部局で補助執行させ、都市計画部門、まちづくり部門との連携強化を図った。



*平成29年度からは、室を解消し建設部直轄。

さらなるまちづくりに向けて

歴史的資産(文化財)を保護し、活用することにより、地域住民が歴史・文化の大切さを再認識し、ふるさとへの愛着と誇りが醸成される。

歴史的資産を活かして新たな社会的、経済的な価値を生み出し、地域振興に役立てる。

(観光、建物のリノベーション、技術の伝承、地場産業の発展など)

